

2019 年度 教育 研究 活動 報告 用 紙 (様式 9)

氏名 山路 麻佳	職名 特任講師	学位 修士 (教育学) (福岡教育大学 2013 年)
----------	---------	-----------------------------

研 究 分 野	研究内容のキーワード
ピアノ演奏学	ピアノ演奏表現、音楽科教育、保育者養成ピアノ教育 幼児の音楽表現、器楽アンサンブル(合奏)

研 究 課 題
<p>保育者養成のためのピアノ教育において、経験のない初心者への効率的な指導法を童謡の弾き歌いにおけるピアノ伴奏を中心にして考察する。また、保育者養成におけるピアノ教育が幼児の音楽表現にどのように関わっていくのか、ピアノ演奏表現も関連させながら考察する。</p> <p>幼児の音楽表現に関して、器楽アンサンブル(合奏)を中心にして考察する。</p> <p>ピアノ演奏表現について、ピアノ作品の作曲家や時代背景を中心にして演奏解釈を考察し表現を深める。</p>

担 当 授 業 科 目
こどものためのピアノⅠ (前期) こどものうたと伴奏法Ⅰ (前期) 音楽の基礎 (前期) こどものためのピアノⅡ (後期) こどものうたと伴奏法Ⅱ (後期) 器楽アンサンブル (後期) 保育総合表現 (後期)

授業を行う上で工夫した事項 (※ 助手については、実習・演習等の指導を行う上で工夫した事項)
<p>授業科目名【こどものためのピアノⅠ】</p> <p>ピアノの基礎的な演奏技能を学んでいく上で、学生に応じた進捗で技術を向上していけるよう複数教員のもと個人レッスン形式で進めた。今回初心者が増加しているのを受け、最初の3コマは初心者対象講座として別途初心者のみのグループをつくり、基礎の部分に時間をかけ丁寧に説明することで、より理解を深めて実技に結び付けることができるよう工夫した。</p>
<p>授業科目名【こどものためのピアノⅡ】</p> <p>昨年度に導入した「ローテーション」を継続して行った。個別レッスンを受ける形態の中、各教員のグループから1人ずつ科目担当者のレッスンを受け、更に今回はその際に発表の場を設けた。これにより各自の意識が高まるだけでなく、目標に向けて計画的に課題に取り組めるよう工夫した。</p>
<p>授業科目名【こどもの歌と伴奏法Ⅰ】</p> <p>保育者として音楽を楽しんで表現することができるよう、昨年度までの課題曲を見直し、コード伴奏の曲も取り入れることで、学生が曲のイメージを広げ曲に合った伴奏をつくり弾きうたいができるよう工夫した。また、2年次になり実習や就職試験など授業外でピアノが課せられることが増え、学生がより実践の場で力を発揮していくことができるよう、課題とは別に実習先や就職試験で求められる曲の指導もしていくよう配慮した。</p>
<p>授業科目名【こどもの歌と伴奏法Ⅱ】</p> <p>これまでに習得したピアノ演奏技術をもとに、学生の習得状況に応じた課題を準備し、それぞれが保育現場に出るから必要な力を身につけられるよう配慮した。また、演奏技術に不安がある学生に対して、簡易伴奏譜を作成し、その方法についても学生に教授することで、より現場で演奏技術が活かしていけるよう工夫した。</p>

<p>授業科目名【音楽の基礎】</p> <p>今回、座学で学んだ内容を実技の実践へ繋げていくために、グループワークの時間をつくり発表の場を設けることでより理解が深められるよう工夫した。また、机間指導を適宜行いながら進めることで学生から質問を受ける機会を設け、全体の状況を把握できるよう配慮した。</p>
<p>授業科目名【器楽アンサンブル】</p> <p>初回授業にボディパーカッションを導入することで、自分自身の体でリズムを表現し、苦手意識のある学生にも楽しみながら自然とリズム感覚が身につくよう工夫した。</p> <p>また、履修者が少人数だったため、保育現場で正しく楽器を扱っていけるよう学生が全ての楽器や指揮を体験できるよう工夫した。</p>
<p>授業科目名【保育総合表現】</p> <p>今回からマロリーホールにて発表を行うにあたり、脚本等の制作や当日の進行だけでなく、ステージの使い方や照明も全て学生にて行った。限られたものを使って学生が協力して考え進めることで、より現場に近い形で創り上げていくことができるよう心掛けた。</p>

学 会 に お け る 活 動		
所属学会等の名称	役職名等 (任期)	加入時期
日本保育学会 九州公私立音楽学会		2018年10月～現在に至る 2019年9月～現在に至る

2019年度 研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書)				
(学術論文) 保育者養成におけるピアノ演奏技術の習得に関する考察－初心者のための教則本の比較－	単著	2020年3月	西南女学院大学紀要 Vol.24	①近年ピアノの経験がない初心者の入学生が増加していることから、保育者に必要なピアノ演奏技術を効率よく効果的に身につけるために、全国の保育者養成校で使用されている教則本を調査した上で、どのような教材を採択するのがよいか考察を行った。 ②p.127-139
(翻訳)				
(学会発表)				

外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）

(1) 共同研究

研究題目	交付団体	研究者 ○代表者（）内は学外者	交付決定額 (単位：円)

外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）

(2) 個人研究

研究題目	交付団体	交付決定額 (単位：円)	備考

社会における活動等

団体・委員会等の名称 (内容)	役職名等	任期 期間等
北九州音楽協会	協会員	2015年4月～現在に至る
福岡青年音楽家協会	協会員	2016年4月～現在に至る
むなかた第九コンサート	伴奏ピアニスト	2016年4月～現在に至る
JR九州「ななつ星 in 九州」金星ラウンジ	ピアニスト	2019年5月12日
JR九州「ななつ星 in 九州」列車内「九州山口ジュニアピアノコンクール」審査員	ピアニスト 審査員	2019年6月1日～2019年6月2日 2019年7月27日
福岡女学院高等学校音楽科「卒業生演奏会」	ピアニスト	2019年8月1日
「東京インテリア家具 MOA café コンサート」	ピアニスト	2019年8月12日
「さわやかむなかたのもり 慰問演奏」	伴奏ピアニスト	2019年8月25日
「第24回九州ハンドベルフェスティバル」	指揮	2019年10月14日
「Trio Munacco」コンサート出演	ピアニスト	2019年11月24日
「第九コンサートむなかた2019」出演	伴奏ピアニスト	2019年12月22日

学内における活動等（役職、委員、学生支援など）

チャペルアワー 奏楽
入学式における奏楽
クリスマス礼拝 奏楽 2019年12月19日
ハンドベルクワイヤー 指導指揮 2019年度～現在に至る
ハンドベル定期演奏会 指揮・ピアノ 2019年12月15日